

平成 23 年 11 月 24 日

## 水煙会の沿革

服部範二（昭和 34 年卒）

建築学科の同窓会として水煙会が発足したのは丁度 40 年前、1971 年です。

当時は横浜高等工業学校から横浜国立大学に移行して 20 年余り。

双方の卒業生が一堂に会する場として、特に田口武一教授の肝煎りで発足したものと記憶します。当時田口教授が、二代目学長であった江國正義名誉教授の主宰する国建築事務所（私はそこの所長であった）に会報「水煙会」の表紙を飾る揮毫を依頼に来られたことを憶えています。

歴代会長は次の通りです。

初代	吉原慎一郎	（昭和 4 年卒）	創和設計創設者
二代	田口 武一	（昭和 7 年卒）	構造系教授
三代	長井善三郎	（昭和 12 年卒）	和同建設創設者
四代	小岩井直和	（昭和 15 年卒）	横浜市建築局長
五代	関口 欣也	（昭和 31 年卒）	歴史系教授
六代	服部 範二	（昭和 34 年卒）	KR 建築研究所創設
七代	長崎駿二郎	（昭和 41 年卒）	竹中工務店

当初は例会を新橋の蔵前工業会館で開催していましたが、その建物が改築されることになり会場を田町の東京都勤労会館に移し、幹事はこの会館の設計者である野村肇一（昭和 12 年卒）、酒井輝義（昭和 20 年卒）、服部範二（昭和 34 年卒）の 3 名で務めました。卓話と懇親会で先輩、後輩の意志疎通を図ることができたと感じています。総会は浜松町の貿易センター 38 階、東京会館で開催されるのを常としていました。東京、横浜の中間に位置し交通の便がよく、毎年 5 月の総会にはかなりの同窓生が出席していました。建築学科が弘明寺から保土ヶ谷キャンパスに移ったのは 1978 年のことですが、私服部が会長就任した 2000 年には大学の卒業生がかなりの割合を占めることでもあり、横浜に会場を移しました。毎年 3 月には卒業設計展を学生諸君が開催するのが通例となり、それに合わせて会場を選んで、学生諸君との調和を図りつつ総会を開催して参りましたが、近年出席数が減少傾向にあることが残念です。